

RT-edge インストール手順書（C2C コンテナ）



株式会社マイクロネット

<http://www.mnc.co.jp>




TEL: +81(0)299-90-1733

FAX: +81(0)299-92-8557

目次

1	概要	3
2	インストールの流れ	3
3	製品メディア	4
3.1	実行環境コンポーネントのインストール	4
4	改訂履歴	5

本書で使用するマークについて

	ノート: 操作方法や手順等の補足情報や注釈を説明しています。
	情報: 製品を利用する上で有効な豆知識となる説明をしています。
	警告: 製品仕様上注意が必要な事象について説明しています。

Windows、Visual Studio は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

INtime は、米国 TenAsys Corporation の登録商標です。

TenAsys®, INtime®, eVM® and iRMX® are registered trademarks in USA of the TenAsys Corporation.

EtherCAT®は、ドイツ Beckhoff Automation GmbH の登録商標であり、特許で保護されている技術です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては、予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※本ドキュメントの内容は予告なく変更される可能性があります。

また、本ドキュメントの無断転載・使用を固く禁じます。

1 概要

本ドキュメントでは、外部通信コンテナのインストール方法について記述しています。

2 インストールの流れ

本コンテナのインストールは以下の流れで行います。

実行環境
インストール

本コンテナの実行環境をインストールします。
「3.1 実行環境コンポーネントのインストール」を参照
下さい

本マニュアルで解説

3 製品メディア

製品メディアには実行環境コンポーネントが含まれます。

3.1 実行環境コンポーネントのインストール

RTedgeExtIF.zip を RT-edge 配置ディレクトリ (C:¥RTedge) へ解凍します。

ファイルは以下の構成になっています。

表 1 実行環境コンポーネント

フォルダ階層	ファイル名	説明
RTedge¥bin	EgC2C.rta	コントローラ間通信プロトコルを用いた外部機器との通信機能を提供します。対応する通信プロトコル用のライブラリをロードします。
RTedge¥bin	EgC2C.xml	本コンテナ用のコンフィグファイルで、タグ設定等を行います。
RTedge¥bin	eWrapFLNET.rs1	FL-net プロトコルを用いた外部機器との通信機能を提供するライブラリです。
RTedge¥bin	eWrapCCIEC.rs1	CC-Link IE Control プロトコルを用いた外部機器との通信機能を提供するライブラリです。
RTedge¥bin	eWrapEIPF.rs1	EtherNet/IP プロトコルを用いた外部機器との通信機能を提供するライブラリです。
RTedge¥bin	HiETHIP.rs1	EtherNet/IP ドライバ用ライブラリです。

4 改訂履歴

版数	発行日	改定内容
第 1 版	2022 年 10 月	初版発行